

注意 火災が多発しています

令和8年4月30日現在、嶺北消防組合管内において既に15件の火災が発生し、その内建物火災が12件発生しています！

春先から5月頃にかけては、空気が乾燥し、強い風が吹く日が多くなることから、火災が発生しやすい時期となります。

また、この時期は農作業や庭の手入れに伴う枯草焼きやたき火、レジャーとしてのバーベキューなど、屋外で火を取扱う機会が増えるほか、進学や就職などによる新生活が始まり、慣れない環境で火気を使用する機会も多くなる時期です。このため、火の取扱いにはこれまで以上に注意することが大切です。火災を防ぐため次のことに注意してください。

① 林野火災対策の徹底

林野火災を予防するため、注意又は危険と判断される気象状況となった場合には、「林野火災注意報・警報」が発令され、火の使用が制限されます。

林野火災の防止のため、喫煙は指定された場所で行い、吸い殻の投げ捨ては絶対にしないこと、また火気を使用する場合には、消火用の水等を必ず準備し、使用後は完全に消火するなど、適切な取扱いと併せて火遊びは絶対に行わないよう、ご協力をお願いします。

② たき火・野焼き等からの火災に注意

乾燥して風の強い日は、焼却や火気の使用を行わないこと。

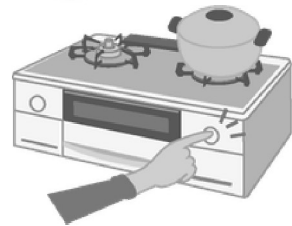
また、焼却やバーベキュー等で火気を使用する際は、必ずその場で監視を続け、やむを得ずその場を離れる場合は、一旦消火すること。

火の粉の飛散や延焼を防ぐため、風向きや周囲の状況に十分注意すること。



③ 火の元確認の徹底

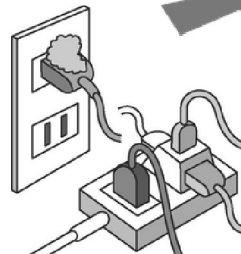
外出前や就寝前には、電気器具やガスコンロなどの電源や火の消し忘れがないか必ず確認する。



④ 電気配線やコンセントからの火災に注意

コードを束ねたまま使用することや、たこ足配線に注意し、傷んだ電気コードは使用しない。

また、コンセントプラグにほこりなどが付着すると発熱し火災の原因となるおそれがあるため、定期的に清掃する。



⑤ 台所での火災防止

調理中はその場を離れず、周囲にタオルなどの燃えやすい物を置かない。

また、グリル庫内などは油汚れがたまりやすいため、定期的に清掃する。



お問合せ

嶺北消防本部予防課 TEL: 0776-51-8435 E-mail: yobou@reihoku-fd.jp